

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成26年4月25日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL <http://www.artspark.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 一生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 星 和彦 (TEL) 03-3710-2985
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	812	△29.5	△66	—	△74	—	△64	—
25年12月期第1四半期	1,152	—	235	—	231	—	203	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △66百万円(—%) 25年12月期第1四半期 272百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△9.68	—
25年12月期第1四半期	30.63	30.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	3,490	2,237	63.0
25年12月期	3,650	2,286	61.9

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 2,199百万円 25年12月期 2,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,527	△17.8	△265	—	△275	—	△278	—	△41.9
通期	3,775	2.4	63	—	36	—	26	△39.3	3.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年12月期 1 Q	6,647,375株	25年12月期	6,636,770株
② 期末自己株式数	26年12月期 1 Q	1,385株	25年12月期	1,270株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年12月期 1 Q	6,643,812株	25年12月期 1 Q	6,635,226株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「デジタル“ものづくり”」の応援と支援を経営理念に掲げ、イラスト、アニメ、マンガをはじめとするグラフィクスコンテンツや、デジタル機器のユーザーインターフェースのデザインなど、一般個人の趣味からプロフェッショナル仕様に至るまで幅広くデジタルでの“ものづくり”を支援する企業グループであります。デジタルによるコンテンツの制作と利用が一般に普及する社会において、引き続き重要なポジションを担い続けられるよう、当社グループの強みであるグラフィクス関連技術とサービス開発の相乗効果を最大限に活かした事業活動を推進しております。

携帯端末市場の中心がスマートフォンへと急速に移行していく中で、当社グループは積極的に事業構造改革を進めており、コスト削減と利益率の向上を目指す一方で、戦略投資事業における投資の成果であるソリューション事業の強化を進めております。

当第1四半期連結累計期間においては、各事業セグメントにおいて、継続的に販売活動の強化を推進するとともに、前連結会計年度に実施した事業構造改革の成果による人件費や減価償却費の軽減が売上原価及び販売管理費の圧縮に貢献しており、クリエイターサポート事業において当第1四半期連結累計期間での黒字化に至っております。また、UI/UX（ユーアイ/ユーエックス）事業における関西地域の事業拠点とする目的で株式会社エイチアイ関西を孫会社化し、車載機向けを中心とした事業展開の推進を強化しております。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は812,590千円（前年同期比29.5%減）となりました。UI/UX事業において、モバイル向けのロイヤリティ収入が減少した影響で、営業損益は66,019千円（前年同期は235,678千円の営業利益）の営業損失となりました。

経常損益につきましては、為替差損2,971千円の計上や、当社の持分法適用会社であるガラット株式会社等に対する投資持分について、持分法による投資損失1,110千円を計上したこと等により74,066千円の経常損失（前年同期は231,898千円の経常利益）となりました。純損益につきましては、株式会社エイチアイ関西の取得による負ののれん発生益13,849千円の計上等により64,320千円の四半期純損失（前年同期は203,291千円の四半期純利益）となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

<コンテンツソリューション事業>

コンテンツソリューション事業の中心である携帯電話市場におきましては、平成26年3月末で国内携帯電話加入契約数が1億3,955万台（前年比5.9%増）となっております。（社団法人電気通信事業者協会発表「携帯電話・PHS契約数」より）

また、平成25年1年間における国内携帯電話端末の総出荷台数は、前年比10.2%減の3,929万台となりましたが、総出荷台数に占めるスマートフォン出荷台数比率は74.5%（前年比5.0%増）となっております。（株式会社MM総研発表より）

このような経営環境の中、「BS Reader for Browser」が利用されている電子書籍配信サービス数は、平成26年3月末では700サービス超となっております。

以上の結果、総合電子書籍ビューア「BS Reader」を軸として推進するコンテンツソリューション事業の売上高は288,728千円（前年同期比13.0%減）、営業利益は7,366千円（前年同期比70.6%減）となりました。

<クリエイターサポート事業>

当第1四半期連結累計期間では、マンガ制作機能を強化した「CLIP STUDIO PAINT」の英語版及び中国語版の最新バージョンをリリース、また複数人で共同作業をサポートする新機能を追加した同製品のバージョンアップ等を実施いたしました。

なお、クリエイターの創作活動をトータルに支援するサイト「CLIP」においては、平成26年3月末時点の登録者数は39万人となっております。

以上の結果、売上高は172,967千円（前年同期比18.7%増）、営業利益は449千円（前年同期は33,645千円の営業損失）となりました。

<UI/UX事業>

当第1四半期連結累計期間では、「デザインエンジニアリング」をテーマに、自動車関連分野を中心に受託開発収入が堅調に推移し、顧客基盤の拡大が進んでおります。関西方面での顧客対応の強化策として、株式会社エイチアイ関西を平成26年2月28日付で孫会社化いたしました。一方、利益率の高いロイヤリティ収入において、モバイル向けを中心に前年同期との比較で大きく減少する事となりました。費用面では外注費の削減が進んでおり製造費用が減少いたしました。

以上の結果、売上高は304,438千円（前年同期比49.1%減）、営業損益は99,921千円の営業損失（前年同期は226,748千円の営業利益）となりました。

＜アプリケーション事業＞

前連結会計年度より事業の縮小を進めております。継続中の一部サービスにおける運用業務の手数料等を収益計上しております。

以上の結果、売上高は46,637千円（前年同期比40.6%減）、営業利益は15,565千円（前年同期比246.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、3,490,599千円となりました。うち、流動資産は1,927,435千円であり、主な内容は現金及び預金1,121,617千円であります。また、固定資産は1,555,859千円であり、主な内容はソフトウェア918,206千円、投資有価証券201,035千円であります。

当第1四半期連結会計期間末における総負債は、1,252,761千円となりました。うち、流動負債は948,652千円であり、固定負債は304,109千円であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、2,237,838千円となりました。なお、自己資本比率は、63.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の連結業績予想につきましては、平成26年1月31日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、特定子会社の異動はありませんが、平成26年2月28日付で株式会社エイチアイ(当社の連結子会社)は、株式会社エイチアイ関西の株式を取得し、子会社化しております。これに伴い、当第1四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,323,533	1,121,617
売掛金	552,076	555,569
製品	30,453	25,459
仕掛品	18,926	9,687
原材料及び貯蔵品	99,376	94,666
その他	119,140	130,775
貸倒引当金	△12,608	△10,340
流動資産合計	2,130,897	1,927,435
固定資産		
有形固定資産		
建物	113,436	114,832
減価償却累計額	△77,681	△79,173
建物(純額)	35,755	35,659
工具、器具及び備品	209,417	219,244
減価償却累計額	△189,439	△196,512
工具、器具及び備品(純額)	19,977	22,732
有形固定資産合計	55,733	58,391
無形固定資産		
ソフトウェア	855,846	918,206
ソフトウェア仮勘定	88,189	71,332
のれん	27,964	26,216
その他	31,039	32,150
無形固定資産合計	1,003,040	1,047,906
投資その他の資産		
投資有価証券	203,623	201,035
敷金及び保証金	193,517	193,400
その他	55,978	55,124
投資その他の資産合計	453,119	449,560
固定資産合計	1,511,893	1,555,859
繰延資産	7,914	7,305
資産合計	3,650,704	3,490,599

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	168,904	137,917
短期借入金	390,000	390,000
1年内返済予定の長期借入金	206,879	190,210
未払法人税等	19,776	5,918
返品調整引当金	8,292	9,474
その他	227,154	215,132
流動負債合計	1,021,006	948,652
固定負債		
長期借入金	267,512	228,287
退職給付引当金	72,078	72,763
繰延税金負債	3,895	3,058
固定負債合計	343,485	304,109
負債合計	1,364,491	1,252,761
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,320	1,003,158
資本剰余金	479,447	482,285
利益剰余金	773,184	708,864
自己株式	△609	△693
株主資本合計	2,252,343	2,193,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,382	5,664
その他の包括利益累計額合計	7,382	5,664
新株予約権	26,486	28,480
少数株主持分	—	10,078
純資産合計	2,286,213	2,237,838
負債純資産合計	3,650,704	3,490,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,152,398	812,590
売上原価	590,573	592,532
売上総利益	561,824	220,057
返品調整引当金戻入額	3,775	8,292
返品調整引当金繰入額	2,979	9,474
差引売上総利益	562,620	218,875
販売費及び一般管理費	326,941	284,894
営業利益又は営業損失(△)	235,678	△66,019
営業外収益		
受取利息	182	362
為替差益	1,881	—
その他	263	67
営業外収益合計	2,327	430
営業外費用		
支払利息	2,414	2,233
為替差損	—	2,971
持分法による投資損失	2,150	1,110
その他	1,542	2,161
営業外費用合計	6,107	8,477
経常利益又は経常損失(△)	231,898	△74,066
特別利益		
新株予約権戻入益	4,256	101
負ののれん発生益	—	13,849
特別利益合計	4,256	13,951
特別損失		
支払和解金	7,600	—
投資有価証券評価損	4,148	—
特別損失合計	11,748	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	224,407	△60,115
法人税等	21,116	4,205
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	203,291	△64,320
四半期純利益又は四半期純損失(△)	203,291	△64,320

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	203,291	△64,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69,229	△1,718
その他の包括利益合計	69,229	△1,718
四半期包括利益	272,520	△66,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272,520	△66,039
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

平成25年3月開催の定時株主総会決議により、利益剰余金の欠損填補を行い、資本剰余金のうち1,388,473千円を減少し、資本剰余金は479,126千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート 事業	UI/UX事業	アプリケー ション事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	331,682	145,709	597,464	77,541	1,152,398	—	1,152,398
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	340	980	1,321	△1,321	—
計	331,682	145,709	597,805	78,522	1,153,719	△1,321	1,152,398
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	25,030	△33,645	226,748	4,490	222,623	13,055	235,678

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート 事業	UI/UX事業	アプリケー ション事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	288,728	172,786	304,438	46,637	812,590	—	812,590
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	181	—	—	181	△181	—
計	288,728	172,967	304,438	46,637	812,771	△181	812,590
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	7,366	449	△99,921	15,565	△76,539	10,520	△66,019

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社株式会社エイチアイが、株式会社エイチアイ関西の株式を取得し子会社化したことに伴い、UI/UX事業において負ののれん発生益13,849千円を特別利益に計上しております。